

## 令和3年度 第2回土木計画学研究委員会 議事録

日時：令和3年12月4日(土) 12:00-13:00

場所：Zoom

### ■ 出席者(敬称略)

委員長：兵藤哲朗（東京海洋大学）

副委員長：高橋清（北見工業大学）、田名部淳（地域未来研究所）

幹事長：小池淳司（神戸大学）

学術小委員会：佐野可寸志（長岡技術科学大）、石渡幹夫（JICA）、土屋哲（鳥取大）

大会運営小委員会：秀島栄三（名古屋工業大学）、岸邦宏（北海道大学）、西内裕晶（高知工科大）、日野智（秋田大学）

秋大会開催校幹事：吉田樹（福島大学）

研究小委員会：橋本成仁（岡山大学）、石倉智樹（東京都立大学）、秋山哲男（中央大学）、中村文彦（東京大学）、神田佑亮（呉高専）、宮崎耕輔（香川高専）、貝戸清之（大阪大学）、寺部慎太郎（東京理科大学）、大西正光（京都大学）、柴崎隆一（東京大学）、金子雄一郎（日本大学）、藤原章正（広島大学）

委員兼幹事：鈴木春菜（山口大学）、伊地知恭右（北海道開発技術センター）、吉城秀治（福岡大学）、楽奕平（芝浦工業大学）、岡英紀（計量計画研究所）、瀬谷創（神戸大学）、力石真（広島大学）、佐藤啓輔（復建調査設計株式会社）、小嶋文（埼玉大学）、白柳洋俊（愛媛大学）、杉浦聡志（北海道大学）、川崎智也（東京大学：議事録）

### ■ 議事

#### 1. 開会 委員長挨拶

兵藤委員長より挨拶がなされた。

#### 2. 前回議事録の確認

前回議事録が承認された。

#### 3. 委員の交代について

小池幹事長より【資料3】の説明があり、新委員として国土交通省の渡邊氏が追加されたことが報告された。

#### 4. 予算の執行計画について

新型コロナウイルス感染症の影響により合宿や調査などの各種活動が制限されていることもあり、委員会の年間予算が消化されず、2020年度から繰り越された分を含め、現在約300万円が余っている。余った予算は2022年度に繰り越せないため、研究小委員会を含め予算使用についてアイデアを募集し、検討することとなった。検討の結果、研究小委員会に対して1件当たり最大約150万円を約2件公募することとなった。公募の締切は2021年12月末を予定している。

#### 5. 学術小委員会からの報告

土屋学術小委員会幹事長より【資料4】に基づいてD3特集号Vol.39の査読状況と今後のスケジュール

ルについて報告された。D4 の投稿数と合計すると約 260 編の投稿があり、前年より増加していることが報告された。また、1 編について別論文集との二重投稿が判明し、自己剽窃として掲載不可としたことが報告された。

## 6. 2021 年度秋大会の実施状況について

秀島委員長より【資料 5】に基づいて秋大会の実施状況が報告された。また、西内幹事より今回の秋大会は例年並みの参加者数であることが報告された。

## 7. 2022 年度春大会の準備状況について

岸副委員長より【資料 5】に基づいて 2022 年度春大会の準備状況が報告された。6 月 4～5 日に広島大学にて対面で開催される予定であるが、感染状況によってはオンラインに変更される可能性があり、開催 3 か月前に実施形式を最終判断する予定であることが報告された。また、対面開催においても、密を避けるためポスターセッションは SpatialChat によりオンラインで実施する。なお対面開催の場合、口頭発表についてはオンライン配信を行わないことが報告された。

## 8. 2022 年度秋大会の準備状況について

秀島委員長より、2022 年度秋大会の開催校について、開催候補校と交渉中であることが報告された。

## 9. 研究小委員会からの報告

吉城幹事より【資料 6】に基づいて「既存委員会の延長申請」と「新規設置委員会」について説明があり、審議された。

既存委員会の延長申請については、「モビリティ・ギャップ研究小委員会」、「インフラ・ファイナンス研究小委員会」の両委員会とも 1 年の延長で承認された。1 年の延長期間終了時点でさらにもう 1 年必要であれば、来年の秋大会時の委員会で延長申請を出してもらうこととした。

新規設置委員会については、「沿岸まちづくりにおける経済学的手法研究小委員会」、「多様な地域課題を解決する道路交通・ITS 事業形成に向けた研究ネットワーク構築」、「災害データサイエンス研究小委員会」の新規設置が承認された。期間はそれぞれ 3 年間である。

## 10. 幹事会からの報告

### (ア) 土木学会論文集 D4 について

鈴木幹事より【資料 7】に基づいて D4 準備状況について説明された。現在 2 次判定のとりまとめ中であることが報告された。また令和 4 年 1 月から土木学会論文集において、正式に分冊となることが決定した旨が報告された。D3 分冊は「土木計画学（方法と技術）」、新分冊は「土木計画学（政策と実践）」となる。

田名部副委員長より、リジェクト判定が出た論文についても修正意見を付けられるよう検討する旨が提案され、鈴木幹事より D4 編集準備小委員会で検討する旨が確認された。

### (イ) 国際活動奨励賞及び国際活動協力賞について

国際担当の楽幹事・力石幹事と委員長、副委員長、幹事長、幹事長補佐で国際活動奨励賞及び国際活動協力賞の候補者について検討し、推薦者を決定することが確認された。

#### (ウ) 研究討論会報告

伊地知幹事より 2022 年度の全国大会研究討論会について、「ビッグ・ピクチャーに夢を見る」というタイトルで申し込んだ旨が報告された。

#### (エ) コロナ調査について

瀬谷幹事長補佐よりコロナ調査の実施状況について報告された。次回（今年度の第 2 回目）は感染状況が落ち着いている 2021 年 12 月で予定している旨が報告された。

#### (オ) 国際セミナーの実施状況について

楽幹事より今年度の国際セミナーの実施実績がないことが報告された。小池幹事長よりウェブセミナーなども含め、国際セミナーとしての開催を積極的に働きかけるよう要望された。

#### (カ) ワンデイセミナー実施状況

岡幹事よりワンデイセミナーの実施について 1 件報告された。小池幹事長から研究小委員長に対し、ワンデイセミナーの積極的な開催をお願いしたい旨が確認された。

#### (キ) HP 改善報告

岡幹事より HP に掲載している英語版の名簿を更新予定であることが報告された。

#### (ク) その他

小池幹事長より、土木学会会長企画の「コロナ後の“土木”のビッグピクチャー策定に関する検討」について説明があった。計画学研究委員会を主体として研究小委員会を設置し、同構想について検討・支援していく方針が報告された。

### 11. その他

特になし

以上